

# 市民談話室



「市民談話室」は、市民の皆さんの意見交換の場です。テーマは自由。あなたの周りの最近の出来事、ふだん思っていること、市に対する意見など、堅く考えず気軽に投稿してください。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は〒950-12白根市大字白根1235 白根市役所企画調整課広報係です。



**進む地域の保健活動**  
吉沢会長長の死を悼む  
青木きよ子さん（大通二丁目・主婦・61歳）

新興住宅団地は、農村部と違つて近所づきあいも希薄で、人々を集めるのなかなか大変です。しかしながら、向こう三軒両隣の気心の知れた仲間たちがいっしょになって、健康づくりを励みしめるように、和やかな気持ちで健診に参加できるように、そして茶飲み話のような雰囲気の中で健康講座を聴くことができると心掛けています。

そんな中で今年の春、自治会長さんを中心として全世帯加入の保健会が出来ました。成人病の集団検診や食生活改善なども、徐々に参加者が増えてきています。

吉沢保健会長さんは長年にわたり、白根市のために東奔西走



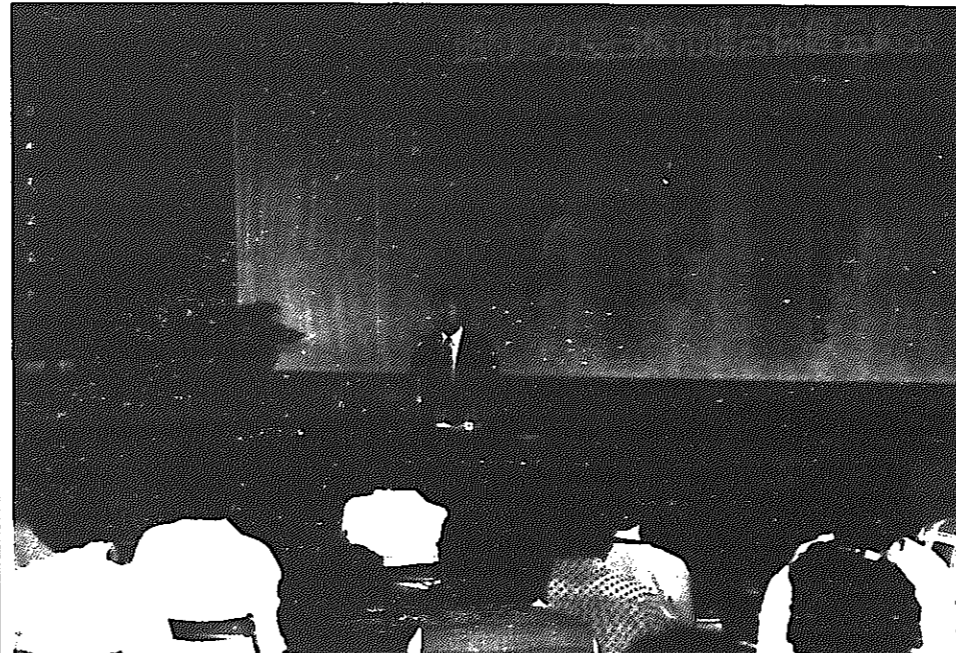
**孫たちの夏休み**  
吉田静雄さん（上鷲ノ木・農業・56歳）

息子の転勤で、夫婦と子供たちのお盆の帰省も二度目を迎へ、今年も七月二十六日にやってきました。長い幼稚園の夏休みを、手狭な住宅生活より、自然に囲まれた白根の生家で過ごさせたい息子の配慮からか、嫁と子供たちは二十日間も滞在していた。すっかり姉さんぽくなった上の娘の綾花（四歳半）に来る早々自転車をねだられ（どうも親の言いつけらしい）、孫親みよりにかられて早速買ってやっただ。同じ年生まれの子の自転車とそっくりだったことも幸いしてか、その子がときおり遊びに来てくれた。

二人で、幼い力いっぱいペダルを踏みながらはしゃいでい

たが、そんな仲よしの日々をまだ覚えているだろうか。宅配便で送り届けた自転車の補助車ははずせるようになったらどうか。去年の春、向こうへ行くときに置いていったブランコも、長い間納屋の片隅でほこりだらけになっていたが、ひさしぶりに日の目を見ることになった。私は、狭山へ帰った綾花たちの余韻をいつまでも消したくない思いで、長い間ブランコを玄関の前に置いていたが、台風が来るというところで、残念だったが、とうとう片づけしてしまった。

今度帰ってくるのは雪の季節。まだ秋になったばかりなのに、私も家族の心はずでに正月へひた走りなのである。



市保健会は昨年、地区活動に主体を置いた組織に改められ、新しく市連合保健会として発足

## 便利な車社会だけれど 免許のない人のことも考えて

川村ナツさん（中笠巻一丁目・48歳）

近年の自家用車の普及率上昇には目をみはるものがあります。今や一家に一台の時代から二、三台の時代に入っています。どこへ行くにも自動車足として使われ、たいへん便利な時代になりました。



**ある朝の出来事**  
どこへ行ったゼラニウムの鉢

私は原付の免許を持っていませんが、自動車の免許は持っています。鉢植えを置く場所も持たないわが家の前に、十鉢ほど小さいものを並べて朝夕、水をやりながら楽しんでいました。

「明日は大雨雷雨注意報」のテレビを見て玄関へ入れておこうと思ったら、「まだ雨が降ってきたわけでもないし、明日に

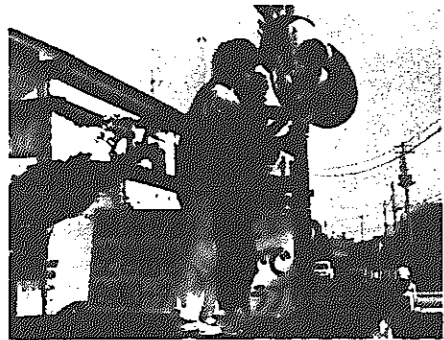
でも……」という娘の言うなりに、そのままにしておきました。ところが、真つ赤なゼラニウムの鉢が一つ見当たりません。この鉢は、鉢から枝を取り、挿し木して三鉢にしたもので、そろって花の咲き始めたときのうれしさは今でも忘れられません。いったいどこへ行ってしまったのでしょうか。

小さいなことでありますが、私は一日じゅうゼラニウムの鉢のことを考えていました。やはり玄関にしまっておけばよかったと思えました。娘は悪がって「あんなにきれいな花を咲かせてかわい鉢植えだったのに」。今でも二人でときどき話しています。

鉢植えは少ないのですが、道行く人が、ときおり足を止めて「かわいい花ですね」とほめてくれます。

## グループ紹介⑮

### ローターアクトクラブ



交通事故防止を願ってカーブミラー磨き

9月15日朝7時、市役所の駐車場に若者が集まり、ハッピーに着替えて相談を始めました。この日はローターアクトクラブ（佐藤克己会長・会員男10人、女5人）のクリーンロード作戦の日で、今日の奉仕活動であるカーブミラー磨きと空き缶拾いの手順などを話し合っていたのです。対象区域は国道から西側の白根地区の中心部で、応援に来てくれた白根ロータークラブと燕ローターアクトクラブもいっしょに作業をしました。

この活動を計画した石沢美栄子社会奉仕委員長は「カーブミラー磨きが事故防止に役立てば幸いです。空き缶の投げ捨ては思ったより少なく、むしろ一般ゴミが目につきました。今回の反省を踏まえて次の活動を計画します」と話していました。同クラブは、社会奉仕活動の実践を目的に昭和47年に結成。以後いろいろな奉仕活動を行ってきましたが、今は交通安全の願いを込めて折った折り鶴を国道で配ること、今回のようなクリーン作戦が中心です。クラブに入りたい人（18歳～30歳）は佐藤会長（諏訪木7・☎372-3830）へどうぞ。

### 会員の声

久原勝栄さん  
（大通南2丁目・22歳）

同世代どうしが同じ目的に向かって取り組むことに意義を感じています。県内にある18のクラブと月に2～3回交流会をもっており、全く知らない人とも出会うことができずばらしいです。気楽な感じで活動に参加し、会員ともつきあっています。楽しい仲間ばかりです。



助走して出番待ち待たず今日も暮れ  
円高で財布が重くなる企業  
裏道を好んで歩く頑固者  
老いの道も逃げ切れぬ距離に立ち  
街角でばったり会った過去の風  
踊る輪に上手に化けている彼  
アイドルが村を湧かせる映画ロケ  
信用は未肉の要らぬ大評判  
公敵判明された熊の飼育員  
コンパインに川り残されし一匹の  
熊ははなれて秋は深まり

西条 心ヲ  
野内熊太郎  
早川 英男  
山崎 アミ  
吉川 彰  
吉川 末吉  
米野 光雄  
今井 七郎  
岡村 清  
中村 尚治

川崎 七ツ  
後藤 マサノ  
佐藤 トミノ  
佐藤 ヨキ  
高橋 祐四郎  
竹石 豊五  
田中 成子  
田村 源夫  
長井 徳市  
中村 尚治